

STAFF STORY



せや在宅クリニックで働くスタッフのストーリー



異業種からの転職もあまり不安なく飛び込んだ

事務

チームの一員として支えたい



上司が「せや在宅クリニック」に転職し、初めて知った「在宅医療」の存在

元々は銀行に勤めていました。職場の上司が「せや在宅クリニック」に転職することになり、初めて世の中に「在宅医療」というものが存在することを知りました。

存在を知り、「在宅医療」を特集するテレビを見る機会もあり、「在宅医療」を必要とされる方が沢山いらっしゃるって、患者様やそのご家族の支えとなっていることを感じました。同時に「在宅医療」に携わる仕事に関しても意識をしました。

その後、転職した上司から誘いの電話が来たことをきっかけに自分も「せや在宅クリニック」に転職することにしました。

元の職場は転勤も多く、色々な業種の職場をサポートする機会もありました。ユニバーサルスタジオジャパン（USJ）の開業準備時の総務の仕事にも関わりました。

そういう経験があったから、全く違う業種からの転職でもあまり不安になることはなく「在宅医療」の職場に飛び込みました。



チームの一員として

仕事では初めて聞くことや専門知識が必要なこともあり、勉強することが沢山大変な面もあります。

「人の命を預かる仕事」ですから重みを感じながらも使命感を持って仕事と向き合っています。

業務の中で、実際の診察の様子を知り、医師、看護師さんの凄さを感じます。大変さも感じるので少しでも負担を軽くすることができればいいなと思います。

せや在宅クリニックは「医師、看護師、ドライバー、事務」でチームを組んで診察に向かいます。チームの一員として支えたいと思います。



より働きやすい環境を考えていきたい

事務部門・総務部の責任者として、今後は、LINEWORKS等のシステムの活用も含め、より皆さんが働きやすい、仕事がしやすい環境にしていきたいと思っています。

入社される方とも一緒に考えていけたらと思います。